

## 第 87 回歴史探訪の会 国宝『彦根城』を訪ねる

日 時：令和 5 年 5 月 17 日(水曜)

場 所：滋賀県・彦根市

世話人：澤田謙治

全国的に暑く、近畿各地も今年の最高気温を記録し、7 月上旬並みの暑さのなか、2 人の新規入会者を含めて 21 名の方に参加頂きました。彦根観光ボランティアガイド協会のガイドさんの案内で国宝『彦根城』を巡りました。

### コース

JR 彦根駅～井伊直弼公銅像(昼食)～鐘の丸～天秤櫓(重文)～時報鐘～太鼓門櫓(重文)～天守(国宝)～多聞櫓(国宝)～玄宮園～馬屋(重文)～埋木舎～彦根駅

### 彦根市の歴史・彦根の名の由来 (彦根市 HP より抜粋)

「彦根」の地名は、むかし天照大神の御子に天津彦根命(あまつひこねのみこと)、活津彦根命(いきつひこねのみこと)の二神がおられ、このうち活津彦根命が活津彦根明神として彦根山に祭られたことに由来しているとされている。

戦国時代になって絶えず戦場となっていたが、豊臣時代に石田三成が佐和山城主となってから町は次第に繁栄し、その後、関ヶ原の戦功で井伊直政が彦根の地に封ぜられ、その子直継が彦根城の築城を始めて、直孝により完成され、城下町として発展、産業、政治、文化の中心地として 300 年間栄えた。



JR 彦根駅前に建つ彦根藩初代藩主井伊直政像



彦根駅からお城に向かって

### 彦根城について

井伊直政は関ヶ原の合戦(1600 年)での功績により、石田光成の所領であった近江国北東部を拝領し、石田三成の居城であった佐和山城に入城した。その後、直政は新たな城を築く事を計画したが、築城に着手する前に 1602 年に死去した。家督を継いだ井伊直継と、家臣たちが直政の遺志を継ぎ、1603 年に現在の地に築城を開始し、1606 年に天守が完成し、直継が入城した。

彦根城を築くにあたっては大津城、佐和山城他の近江国の諸城の建設物に利用したとされ、その結果として彦根藩には城が彦根城だけとなった。大老も出ず譜代大名筆頭の井伊氏が諸大名に一国一城令を守る手本を示すかたちとなった。彦根城は「現存 12 天守」(後述)のひとつで、且つ天守が国宝とされている城です。天守が国宝とされているのは彦根城の他は、松本城、犬山城、姫路城、松江城の4つだけです。

## 井伊氏について

井伊氏の名は「保元の乱」(1156 年)に源義朝に従う武士としてその名が残っているが、今でも広く知られるのは、徳川家康に仕え、徳川四天王の一人に列するまでになった井伊直政の時代以降と言われています。

井伊直政は徳川家康に仕え、関ヶ原の合戦での功績により、石田光成の所領を拝領し、その子孫も近江国・彦根藩の藩主として譜代大名中最大の石高を有し、幕府大老を輩出した。

明治維新後は華族に列し、伯爵家となっています。

2017 年の NHK 大河ドラマ「女城主 直虎」で柴咲コウが演じたのが井伊直虎で、前述の井伊直政の父である井伊直親と直虎は従妹関係になります。



幕末の幕府大老 井伊直弼の像

又、第 16 代彦根藩主 井伊直弼は江戸時代末期に大老を務め、開国派として日米修好通商条約を結び、反対派を弾圧しました(安政の大獄)。後に、開国反対派により暗殺されています(桜田門外の変)。

井伊直弼は、35 歳で藩主となるまでこの城下町で過ごしたが、その時に住んだ屋敷は「埋木舎(うもれぎのや)」として今も残っています。



彦根城表門にてガイドさんの説明を聞く



鐘の丸から彦根市街地、琵琶湖(写真左奥)をのぞむ

## 彦根城天守

天守は3層で各層に千鳥破風、切妻破風、唐破風、入母屋破風を配置しており、ガイドさんによるとその数は18で、姫路城より1つ多いとの事。大津城天守を移築したと言われている。天守内部には4人程が入れる”隠し部屋“が数か所ある。



彦根城天守

## 玄宮園

彦根藩主の憩いの場、交際の場、饗応の場として使われた池泉回遊式庭園で、1677年頃に造られたとされています。



彦根城内から玄宮園に向けて



玄宮園



玄宮園にて





彦根城天守を背景にして

### 馬屋

藩主が乗る梅 21 頭をつないでおく馬屋で、城内に馬屋が残っているのは彦根城だけです。

### 埋木舎

第 16 代彦根藩主で幕末の大老井伊直弼が若い頃に過ごした舎です。

『世の中をよそに見つつも埋もれ木の埋もれておらむ心なき身は』、と井伊直弼は歌を詠み自ら「埋木舎」と名付けました。



馬屋



埋木舎

## 現存 12 天守について

「現存天守」とは、日本にある城の天守のうち、江戸時代またはそれ以前に建設され、現代まで保存されている天守のことで、現在12の天守がそれに該当します。勿論、創建当時の天守がそのまま保存されていると云うわけではなく、創建後に修復や再建されてはいるがほぼ創建当時の姿が残されているものを含んでいます。

<u>現存天守を持つ城</u>	<u>所在地</u>	<u>天守建造年</u>	<u>天守が国宝</u>
弘前城	青森県・弘前市	1810年	
松本城	長野県・松本市	1615年	○
丸岡城	福井県・坂井市	1624年頃	
犬山城	愛知県・犬山市	1601年	○
彦根城	滋賀県・彦根市	1606年	○
姫路城	兵庫県・姫路市	1601年	○
備中松山城	岡山県・高梁市	1681年	
松江城	島根県・松江市	1607年	○
丸亀城	香川県・丸亀市	1660年	
伊予松山城	愛媛県・松山市	1852年	
宇和島城	愛媛県・宇和島市	1666年	
高知城	高知県・高知市	1747年	

写真は津垣さんが撮影されたものを使用させて頂きました。